

□大般若法要終了

六月十日、年に一度修行する大般若会(大般若経六百巻の転読による檀信徒各家の家内安全諸願成就祈願と先祖供養法要)が無事円成いたしました。随喜のご寺院様は近隣より三十八名、法要後は新発田市島潟龍泉寺森井正俊老師のご法話、終わって手作り精進料理とお神酒で昼食を頂戴して帰路となりました。お参りいただきました皆様有難うございました。来年(六月十日)は日曜日となりますのでぜひとも大勢の方のご参加をお待ちしています。



□入籍しました。

副住職の長男神田孝純はご縁をいただき、このたび市内野中、小野和栄家(小野石材)の長女である小野加寿代さんと結婚することになりました。秋に本堂に於いて仏前結婚式を挙げます。未熟な二人ですがこれからお檀家の皆様には何かとお世話になります、宜しくお願いいたします。

□千眼寺永代供養塔建立



永代供養塔 (慈光)

二男神田秀孝が住職を勤める村上平林千眼寺ではこのたび、永代供養塔を建立しました。墓名は千眼寺本尊観世音菩薩に因み、観世音菩薩御詠歌より、「慈光」と名付けられました。墓に刻まれた文字は三男神田恭真の筆に寄るものです。

秋の仏教講演会

期日 十月一日(日曜)
時間 午後一時半から三時まで
会場 広蔵寺本堂
講師 南直哉師
チケット 五百円
主催 第十七教区寺院護持会
共催 胎内仏教連合会



南 直哉師

南直哉師プロフィール

南直哉(みなみ じきやい) 1958年生、長野県出身、早稲田大学第一文学部を卒業後、大手百貨店での勤務を経て1984年に出家。曹洞宗大本山永平寺での修行生活を経た後、福井県霊泉寺住職、青森県恐山菩提寺院代に就任。著書に「なぜこんなに生きにくいのか」「老師と少年」「語る禅僧」「自分をみつめる禅問答」「恐山」他多数出版している。

お寺からのお願い

▼お墓にお供えのお菓子、果物、口を開けたワンカップ、日本酒の瓶、ジュースの缶、ペットボトル等はすずめ蜂がよってきて危険ですのでお供えしてお参りの後、それぞれお持ち帰りください。
▼参道脇のゴミ捨て場には、自然ゴミ(花、草、落葉、枯れた樹木類)以外は捨てないでください。花を包んである紙、花を縛ってあるビニール紐、アルミホイル、ラップ、発泡スチロール、トレイ、プラスチック、ナイロン等や、墓掃除の雑巾、タワシ、洗剤容器、軍手、ビニール手袋等は持ち帰って燃えるゴミとして町のゴミ収集車に出して下さい。自然ゴミと町に出すゴミの分別をお願いします。
▼缶、瓶、欠けた茶碗、コップ等の不燃物は持ち帰って危険物として町指定日に出して下さい。
▼各地域の墓地(境内墓地以外の方)で塔婆等の処理に悩んでいる方はお寺にお持ち下さい。業者を頼んで処分します。

*墓地には焼却炉はありません。
*古塔婆入れを用意してありますのでお納めください。